

人口減少の悪影響!

その1 経済圏が縮小 商店や事業所 公共交通機関等が廃業・縮小! 買物難民や生活難民が増加!

その2 介護保険料や国保税が上昇! 社会保障の行財政負担が増加! 支える人口減で税収激減!

もう支えることできないブク

その3 「限界集落」になる地区が増加!

HELP! 助けてくれる人がいない... ヘルプ!

その4 行政予算の削減と職員の削減 施設の統廃合で行政サービスの質と量が大幅に低下...

学校も病院も遠いブク~!

そーなる前に手を打つのが大事なんよ!



社会増減・転入転出

転入転出の8割が県内移動、進学や就職で若年層が流出。

社会増減では、転出抑制と転入増加による人口規模の維持が目標。近年は転入数・転出数ともに減少傾向で、人口移動数も縮小しています。

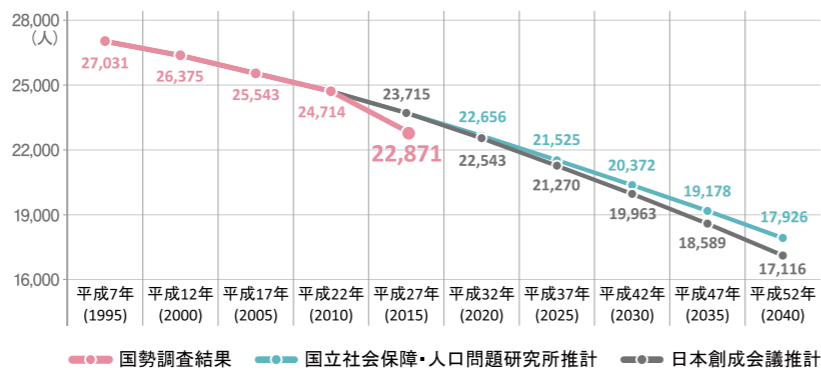
福智町の人口は転入転出ともに8割が県内移動で、人口の流出先は、筑豊圏内が7割を占め、特に田川市、飯塚市への転出が

顕著。筑豊圏外では、福岡市と北九州市への流出が2割以上を占めています。

年齢別の状況では進学や就職に伴う若年層の転出が人口減少と高齢化に影響大。逆に50歳代以降は転入超過で、北九州市からの転入が最も多く、退職に伴う移住が多いと考えられます。

人口減少に歯止めをかけるには...

転入・転出の「社会増減」と出生・死亡の「自然増減」への同時対応が求められます。



自然増減・出生死亡

人口構造の厳しい変化と下げ止まりの見えない減少。

自然増減では、出生が昭和50年代の半数に減少する中、平成2年以降、死亡数が出生数を上回り、自然減に転じています。

福智町誕生時に26,378人だった人口も現状では23,279人にまで落ち込み(3,099人減少)、下げ止まりの見えない人口減少が続いています。

生産年齢人口は平成22年に1万5千人を割り、平成47年には1万人を割る予想。年少人口は平成7年以降、老年人口に逆転されました。また増え続けてきた老年人口も平成32年からは減少が予想され、まちの人口減少と人口構造の変化は、厳しい状況に直面しています。



【ルリちゃん】 上野峽に生息するオオルリ。毒舌で筑豊弁。



【福天】 ラッキーアイテムを身につけた福智山に住む神様。

福天とルリちゃんに聞いた! 福智町の現状と人口減少のデメリット。

なぜいま定住促進なのか。人口激減社会の中で福智町が持続発展するために...

国内は人口減少社会。人が減ることさまざまな問題が出てきます。特に地方における経済規模の縮小は大きな課題となり、福智町のような小さな町への将来的なダメージは深刻です。

逆に人が増えると生活のための消費が増え、地域経済が活性化。人と人が支え合うことができます。また町にとっては税収や国からの地方交付税も増えるなど、多くのメリットがあります。

福智町では、すでに昭和60年から人口減少が続き、炭鉱最盛期から半減。平成27年の国勢調査人口は2万2千871人で、5年前の前回より1千843人減少し、予想を上回るペース

地域ブランド化とふるさと納税の財源で推進環境整う!

ルリちゃん登場!

ほーあんた なーんも知らんのー

極楽ブク~

お風呂も広々ブク♡

人が減ってるって騒いでるけど...別にいいブクでは?

人口(人)は町の基盤やろ! このまま人がおらんくなったら町が維持できんくなる!

町にお金も入らないブク~

人がおらんかったらものすごく問題が出てくるぞ!

そーなつてもーたら福智町のマスコットキャラクターではおれんくなるぞ!

で人口減少が加速しています。この人口減少への対策は、遅れば遅れるほど、減少カーブが急激に下降するため、急務となりました。

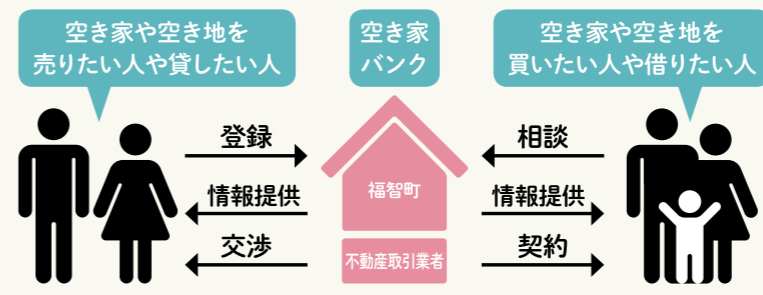
一方で、存在が知られていない土地は定住の候補地にもならないため、福智を知ってもらうためのPRと地域ブランド化が不可欠です。

この対応としては「福智スィーツ大茶会」や「ふるさと納税」をはじめとするPRです。すでに取り組み、成果を挙げてきました。さらに「ふるさと納税」では施策の財源をも確保。まさに本年度は定住促進に向けた基盤が整った形となっています。

定住促進の施策案が数ある中で、本年度着手する施策は「選択と集中」「効果重視」を基準とし、財政の弱体化に拍車をかけることのないよう「出産祝い金」や「家賃補助」のような応急処置的な給付型ではなく、確実に定住に結びつく取り組みを優先して採用しています。

4ページからは、その定住促進施策をご紹介します。

昨年スタートした福智町の「空き家バンク制度」は、空き家や土地を売りたい人・貸したい人が物件登録をし、町が利用希望者へ情報発信する制度。町有地を除き、すべて不動産取引事業者が契約を仲介するので安心です。福智町内に空き家や空き地をお持ちのかたはぜひ登録をお願いします。



売買賃貸をマッチング 空き家バンク制度

新築や空き家解体を奨励

本年度から始まった町の定住促進施策の中で大きな柱となるのが「定住促進助成事業」。福智町内に新築住宅を取得する場合には、奨励金として上限100万円(町内業者が施工・販売する場合は150万円)、中古住宅の場合は上限50万円が交付される事業です。対象となるのは、3年以上町内の賃貸物件または町外に住んでいる世帯のうち、夫婦の合計年齢が80歳以下の子育て

世帯もしくは中学生までの子を扶養するひとり親世帯。期間は今年4月1日から平成32年3月31日までです。また、町内の空き家の解消および住宅地を増やすことを目的とした事業もスタート。空き家等を解体した場合、合片付けをした場合に、それぞれ経費の2分の1(解体は50万円、片づけは10万円の上限あり)が助成されます。空き家バンクに登録している物件が対象となります。



移住・定住促進ポータルサイト「ふくち暮らし」
昨年開設。仕事や暮らし、空き家バンク、町の紹介などの情報を提供しています。

- 各施策の利用方法や条件など詳しくはお問い合わせを。
- 空き家バンク制度 役場まちづくり総合政策課 ☎22-7766
- 定住促進助成事業 役場住宅課 ☎22-7768
- 空き家等解消支援事業 役場総務課 ☎22-0555
- 保育料に関すること 役場福祉課 ☎22-7763
- しごと相談窓口 福智町しごと相談窓口 ☎85-8405
- 図書館・歴史資料館「ふくちのち」 ☎28-2855



保育料で子育て応援 3子以降完全無料

9月1日から、福智町在住世帯の第3子以降の保育料が完全無料化に。これまでの第1子・第2子の年齢や世帯の所得などの制限がなくなりました。第2子の保育料についても、年収360万円未満相当の世帯であれば、第1子の

年齢にかかわらず半額です。さらに、所得の階層区分を町独自に細分化し、国の基準よりも保育料が減額となっています。これらの子育て応援施策により、人口の自然増につながる出生率の向上を目指しています。

平成27年10月に役場本庁2階に設置された「福智町しごと相談窓口」。利用はすべて無料で、ハローワークと同等の最新の求人情報等が閲覧できます。専門の相談員が常駐し、就職に関するさまざまな相談をはじめ、就業セミナーや就業訓練などの受講もサポート。毎週13時30分～15時30分はハローワークの職員による出張職業紹介も行っています。また、昨年11月には「トラ

働きたい人を 全面的にサポート

イアルカンパニー」と福智町が「立地協定」災害時物資供給協定」を締結。「立地協定」には、まもなくオープンするトライアル福智店での地元優先採用が明記されています。170人の雇用の場が創出されました。

「ふくちのち」をコンセプトとした今年3月開館の「ふくちのち」。新たな知識や情報を得て学ぶ力の向上を目指す「知」の拠点機能と、福智で培われてきた風土や歴史に触れる「地」の拠点機能が一つになった多機能型施設です。図書館・歴史資料館機能をはじめ、最新工作機器をそろえたものづくりラボ、キッチンスタジオ、カフェなどが充実。企画イベントも随時開催しています。本や人、そして自分自身との新たな出会いの場として、ぜひご利用ください。



人や本と出会う 図書館・歴史資料館

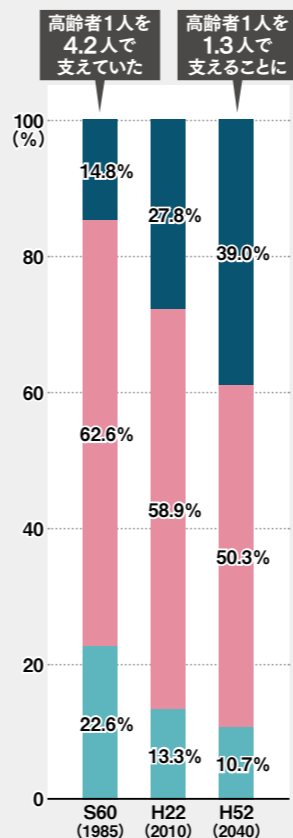
「ふくちのち」をコンセプトとした今年3月開館の「ふくちのち」。新たな知識や情報を得て学ぶ力の向上を目指す「知」の拠点機能と、福智で培われてきた風土や歴史に触れる「地」の拠点機能が一つになった多機能型施設です。図書館・歴史資料館機能をはじめ、最新工作機器をそろえたものづくりラボ、キッチンスタジオ、カフェなどが充実。企画イベントも随時開催しています。本や人、そして自分自身との新たな出会いの場として、ぜひご利用ください。

1 安心安全な暮らしを支える見守りネットワーク体制づくり 53の事業者とも連携。

少子高齢化が進む中、福智町では、一人暮らしの高齢者など支援が必要な人を地域の目で見守る体制づくりを目指しています。ご近所での支え合いに加え、現在日ごろの配達・販売・窓口などで地域のみなさんと接している53の事業者と協定を締結。より多くの目で見守ることで、異変を早めに察知でき、安心・安全ないきいきとした生活につながります。この「見守りネットワーク」



「く」づくりの趣旨に賛同し、協力していただける事業者を募集しています。
 社会福祉協議会地域福祉課
 ☎22-3778



2 地域農業の振興を図るため町内農業者や若者の就農をサポート。

福智の基幹産業の一つである農業。町では、就農相談のほか、補助金などを交付して農業従事者や新規就農者をサポートしています。まず町長が認定した町内農業者や農業団体などに交付される「農業振興事業費補助金」。農業に関する生産振興、有害対策、機械導入、環境保全などを図るため、指定事業の実施内容に応じて交付します。また、新規就農者向けの「農業次世代人材投資資金」には「準備型」と「経営開始型」があり、準備型では、県が認める就農に向けた研修を受ける場合に年間150万円を最長2年間給付。経営開始型では、独立

や自営の新規就農で経営が安定するまでの間、年間最大150万円を最長5年間給付します。対象には諸条件があります。
 町役場農政課
 ☎22-7767



3 産後ケア事業や医療費助成など子育て世代を応援。

町では妊娠〜子育てを切れ目なくサポートしています。中でも生後4か月未満の子とママが対象の「産後ケア」は、昨年スタートした事業。不安を解消し安心して子育てできるように、ぜひご利用ください。
 コスモス保健センター
 ☎28-9500

また「子ども医療費助成制度」として、子どもの疾病の早期発見・早期治療のために医療機関で受診した場合の、0歳から中学3年生までの医療費(自己負担額)を全額助成しています。
 町役場住民課
 ☎22-7761



4 子どもの夢や目標を 実現させる基盤づくり。 福智の教育への取り組み。

教育の取り組みとしては、町が独自に講師を採用して少人数学級を編成。生徒の習熟度に合わせた授業の導入により「個」に応じたきめ細かな指導を行っています。また、経済的な理由で進学が困難な方への進学援助制度として「育英資金貸与制度」や田川地域で広域実施している「奨学金給付制度(原則として返還不要)」などが

あり、一定の条件を満たす場合にご利用できます。
 町教育委員会 学校教育課
 ☎22-1192



知っ得！暮らしをサポートする事業

【浄化槽設置整備補助事業】
 浄化槽設置費の一部を補助金として交付。人槽区分により上限33万2千円～93万9千円。汚水処理施設地域を除く。
 町役場 住民課環境衛生係 ☎22-7761

【犬猫の不妊去勢手術費補助事業】
 飼い犬(畜犬登録済)や飼い猫の不妊去勢手術費の一部補助。犬:オス7千500円・メス1万2千円/猫:オス5千円・メス9千円。
 町役場 住民課環境衛生係 ☎22-7761

【地域包括支援センター】
 高齢者の自立と福祉を包括的に支援。配食サービス、紙おむつ給付、寝具洗濯乾燥消毒サービス、外出支援、認知症対策など。
 町役場 保健課地域包括支援センター係 ☎28-9502

【住みよい住宅リフォーム助成事業】
 要支援高齢者等の住宅の利便性向上、介護負担の軽減などを目的に、住宅の改修工事費用を助成します。(上限30万円)
 町役場 福祉課福祉係 ☎22-7763

暮らしに役立つ情報を掲載したガイドブック「ふくち暮らし」発行

定住促進を目的に、福智町の紹介や暮らしに役立つ情報、本年度の施策を「しごと」「子育て」「福祉」など10の項目ごとに取りまとめたガイドブック「ちょうどいいふくち暮らし」を作成しました。乳幼児健診時に子育て支援グッズとともに配布されます。また、町外での町のPR活動時にも配布予定。役場本庁・各支所などに設置していますので、ご覧ください。



町役場まちづくり総合政策課 政策推進係 ☎22-7766